

6月末組織人数
5,127人

岩手県連ホームページは
コチラからアクセス



建労いわて

発行所

岩手県建設労働組合連合会
教宣部

盛岡市本宮一丁目7番27号
電話 019-631-3280
FAX 019-635-4015
発行者 宮本勝吉

岩手県連青年部 第49回定期大会

活動を模索しながら 本部竹谷組織部長から講演



講演と議事内容を資料を見ながら確認する参加した青年部員

6月12日(日)、盛岡市「ホテルエース」において、岩手県連青年部第49回定期大会が開催されました。9組合青年部から24人、来賓として全建総連本部の竹谷英幸組織部長、岩手県連の高橋清一郎会長が参加し、合計26人の出席となりました。はじめに久保田和智青年部長から「昨年度も思っていた様な活動が出来ませんでした。今年は出来る活動を模索しながら、活動をしていきたいで



リモートで講演をする全建総連の竹谷組織部長

「す」とあいさつがありました。次に高橋会長から「若い内に沢山の資格を取って、その道のプロになる様に率先して資格取得をして頂きたいです。みなさんと共に私達母体組織もがんばって行きたいと思っているので、共にがんばって行きましょう」と来賓あいさつが行われました。

続いて経過報告・諸会議報告・決算報告が質疑無く参加者の拍手を持って承認された後、竹谷部長から「この先の建設業界について、組合の未来を担う者たちへ」という

私はここの役員です



前沢町大工組合
副組合長
佐藤 繁信さん

Q1、この仕事を選んだ理由を教えてください。

・父親が大工で、子供の頃からよく仕事場に連れていかれて遊んでいました。そんな父親を見て大工を選びました。

Q2、組合加入のきっかけを教えてください。

・職場の先輩から、組合に入ると中建国保が10割給付を行っていると教えられた事が、組合加入のきっかけです。

「内容を、項目を大きく2つに分けて講演が始まりました。コロナ禍と言う事もあり、竹谷部長はオンライン(リモート)での出席。1つ目は建設業を取り巻く現状と課題について、現在雇用関係の明確化が重要課題ですと発言。建設業での働き方(事業主・従業員・一人親方)が適正であるか「働き方の自己診断チェックリスト」

を使って、参加者の実状を確認しました。また、労働保険の特別加入に対して「特別加入の給付基礎日額は、現在働いている日給の額に近い金額で加入してほしい」と給付例を交えて実際に給付される金額を基に話されました。

講演後は、来年度の運動方針・予算案が参加者の拍手をもって承認。大会スローガンの承認と続いた後、小野寺直青年部副部長の発声で団結ガンパロウを行いました。最後に山本拓青年部副部長の閉会あいさつで岩手県連青年部定期大会は終了しました。

【県連 鈴木(章)記】

◆以前書道を習った先生の実家の娘さんから「和室の建具がキツイから見てほしい」と依頼があった。多分床下が原因ではないかと思いつながら行ってみて修正補強して終了。なにせ築70年の家で年季が入りすぎている。土の上に立っていても丈夫なものである。その部屋に先生の書いた遺作の短冊があった。「老鶴萬里心」意味は「年老いた鶴でも思い(飛び)続ける心があればどんなことでも到達出来るもの」と教えてくれた。

2つ目はインボイス制度について「インボイスはみなさんの生活にも深く関係している」と話し、図を使って具体例を説明すると、参加者も頷きながら聞いていました。竹谷部長からまとめとして「インボイスや労働保険など分からない事があれば、所属する組合に相談してほしい。全建総連・岩手県連はみなさんをサポートします。組織拡大についてもよろしくお願ひします」と話され講演は終了しました。

◆翌日朝3時半出発で、秋田まで東日本古希野球の応援に行き見事ベスト4になった。4試合目ともなるとすべてがポロポロになりながら敗戦。記念の集合写真に写った姿はみんな晴々充実感が出ていた。まさに飛び切った老鶴の姿だった。勝利の対極は敗者なれど、それを越えた価値観を見出すことが萬里心なのだと思ふ。

◆これらは、岩手県連の活動にも参考になる出来事な気がして、見方を増やせば好展開が期待出来るのではないだろうか。ちなみに秋田から宮古まで「70歳まで野球は出来るのだろうか」と考えながら帰路についた。

【教宣部長 宮本勝吉】

きぎずな

私のこだわり
前沢安部勝さん



これが我が家のプチヴェールです

100

大工仕事の少ない時期に「副収入になれば良いな」と思い、冬の間活用しない稲作用ハウスを使い、冬野菜を栽培し始めたのが13年前前の事です。当時は前沢の農家が20件位プチヴェール(1990年に静岡県農家で、ケールと芽キャベツを掛け合わせて作られた野菜)を栽培していました。

安心安全な美味しい野菜

同じハウスや土壌を使うので、連作障害やプチヴェール特有の病気が多発する様になり、収入にならない野菜と言う事で育てる人が以前よりも激減しました。私も止めようかと考えていた矢先の事です。知り合いから農業セミナーのお誘いがあり参加。土壌改良とほぼ無農薬の栽培



岩手からは25人が参加しました

【県連 阿部 記】
コロナ禍で集まる事は難しいと思いますが、今回の集会を通して楽しむ為の工夫に気づかされました。参加者からは「久々にこの様な集まりにみなさんと参加出来て、明るい気持ちになりました」と話されました。この先、笑顔が見られる活動になることを願って、全国主婦交流集会は終了しました。

6月9日(木)、全建連全国主婦交流集会がオンラインで行われ、岩手から25人、全国からは32県連・組合の主婦の会員と役員員合わせて590人が参加。コロナ禍で交流が出来ない状況が続いていますが、今年も「楽しむ」「行動力の回復」を目的として、開催されました。

楽しむ為の工夫
オンラインで全国主婦交流集会

兵交代式に魅了されました。そして参加者同士で考えるクイズが用意され、Q・衛兵になる為の一番の条件は「年齢・身長・顔・学歴」のどれかという問題。「顔」という正解に参加者は驚いていました。続いて旭化街(てきかがい)※上野のアメヤ横丁の様な商店街)では、臭豆腐など強烈な匂いの食べ物を食リポ。こちらまで匂いが伝わってくる様でした。最後は台湾で有名な天燈上げ。590人の「平和への祈りと願い」が書き込まれた紙製のランタンを現地で飛ばしました。

青年部
青通
仲間には宝

私は北上で大工をします。家族は父・妻・息子2人・娘1人です。息子2人は小学校の頃から野球をして長男はチームの人数が近くなったりすると豪校に1勝出来る様になります。次男は1年生で2年生・3年生のプレーをみてがんばっています。週末には他県に行き、練習試合をしています。大会ではベンチ入りをして、東北大会に出場し見事優勝をおさめました。学校は別々になりましたが、がんばっている2人をこれからも応援していきたいです。
【北上 青年部 小原 記】



とあるアクアリウムでヒレを広げて優雅に泳いでいた「ハナミノカサゴ」を撮影しました。

こう見えて背びれと尻びれの先端のトゲの部分には毒があります。まさに「美しいハナにはトゲがある」という事ですね。

(県連事務局より投稿)

この1枚
ナイスショット



7・8月行事予定

- ★7月
 - 11日 北海道・東北地方協議会 東北整備局交渉 (仙台)
 - 14日 全建連 第48回教宣大会 (リモート)
 - 15日 岩手県連教宣学習会 (盛岡)
 - 15日 全国主婦交流集会 総括会議 (東京)
 - 20日 第324回 中建国保理事會 (福岡)
 - 21日 第124回 中建国保組合 会 (福岡)
 - 24日 岩手県連青年部 夏休み木工教室 (一関)
 - 28日 県連三役会議 (盛岡) 全国組織部長会議 (東京)
 - 29日 全建連 予算要求中央行動 (東京)
- ★8月
 - 1日 北海道・東北地方協議会 建設職人のつどい (福島)